

報道機関 各位

JADEC、肥満を「ダイアベティス(糖尿病)の前段階」と位置づけ 新啓発
— 世界肥満デーに“予防の入口”から社会を変えるアドボカシー始動 —

2026年3月4日

JADEC(公益社団法人日本糖尿病協会)はこのたび、ダイアベティス(糖尿病)発症の重要なリスク因子である肥満を“ダイアベティスの前段階”と位置づけ、厚生労働省や経済関連団体と連携し、就労世代を対象とした全国的な「肥満アドボカシー活動」を開始いたします。

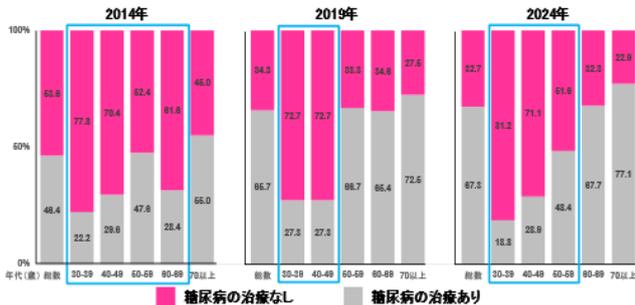
活動メッセージ: 肥満の解消、今の一步が未来を変える

■ 就労世代の肥満は社会的課題

肥満は就労世代に多く見られ、糖尿病 発症リスクのみならず、将来的な労働生産性低下や医療費増大にもつながります。

肥満対策は個人の健康管理の問題にとどまらず、社会保障や労働力維持にも関わる重要なテーマです。

糖尿病(ダイアベティス)の受診率は改善しているが、30・40代では依然として約7割以上が治療を受けていない



厚生労働省 平成25年度国民健康・栄養調査報告 第1巻、2014年2月25日発表。厚生労働省 令和5年度国民健康・栄養調査報告 第1巻、2024年2月25日発表。令和5年度国民健康・栄養調査報告 第1巻、2024年2月25日発表。

日本における肥満者割合(BMI≥25)の推移



- ✓ 肥満のある人の割合は成人男性で増加しており、特に30~50歳代で顕著!
✓ 肥満の解消は糖尿病はじめ慢性疾患の発症を防止する

国立健康・栄養研究所 健康日本21(第二次)分科会健康事業 国民健康・栄養調査より作成
注: 20歳未満(1980年まで)は国民健康・栄養調査。30代は国民健康・栄養調査。2017年と2019年は抽出率などを考慮した全国統計正値
日本糖尿病学会 肥満診断ガイドライン(2022) ダイアベティス編、2022年

■ 糖尿病 発症予防の観点からの取り組み

糖尿病の疾患啓発団体である JADEC が肥満を正面から取り上げるのは、発症予防の最前線が肥満対策にあるとの認識によるものです。

糖尿病 予防を社会に広げるには、予防の入口から環境を変える必要があると判断し、新たな取り組みに踏み出すことにいたしました。

■ 肥満における“医療と社会の壁”～スティグマの存在

JADEC が協力した肥満患者・医師・一般生活者への意識調査では、肥満のある人が偏見や自己責任論にさらされ、治療や相談につながりにくい現状が示されました。

肥満は医学的リスクであると同時に、社会的スティグマが健康悪化を助長する可能性もある課題です。

「肥満」の責任は誰にあるか？



一般消費者の7割、肥満症患者の9割近くが「肥満は自己責任」と考えている患者の自己責任意識は強く、一般消費者よりもスティグマが大きい

診療で体重について話題にすることについて

体重について医師に(患者に)相談・話題にすることの気軽さ



●肥満症患者も医師も、体重について“話したいが話題にしにくい”現状。

今後、JADECは本活動を通じ、以下の取り組みを推進して参ります。

- 肥満を <sup>ダイアベティス</sup> 糖尿病 予防の入口として社会的に位置づけること
- 偏見の解消と適切な医療アクセスの促進
- 国や企業と連携した啓発環境の整備

■JADEC（公益社団法人日本糖尿病協会）について

JADEC は、<sup>ダイアベティス</sup> 糖尿病 に関する正しい知識の普及啓発とアドボカシーを目的に、1961年に結成されました。現在の会員数は、約105,000人。<sup>ダイアベティス</sup> 糖尿病 のある方とその家族、医師、歯科医師、看護師・管理栄養士・薬剤師などのメディカルスタッフおよび <sup>ダイアベティス</sup> 糖尿病 に関心のある企業・市民で構成されています。47都道府県糖尿病協会の下に約1,600の「友の会」を置き、地域社会への啓発活動を通じて、日本の <sup>ダイアベティス</sup> 糖尿病 の抑制を目指しています。

1987年に社団法人、2013年4月からは公益社団法人となり、<sup>ダイアベティス</sup> 糖尿病 の新しい呼称の普及を目指して、2024年からは団体名を英語表記のJADECに変更しています。

\*\*\*\*\*

◇本件に関するお問い合わせ◇

JADEC（公益社団法人日本糖尿病協会） 担当：堀田

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 8F

TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725 email : hotta@nittokyo.or.jp

www.nittokyo.or.jp / facebook.com/nittokyo